

(2019年度)

1 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は16ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能を使用してはならない。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 日本の芸能の歴史について記述した以下の文章を読んで、関連するあとの問いに番号で答えなさい。

- (1) 琴・笛などの楽器や仮面は縄文時代の遺跡からも出土した例があるが、それがどのような音楽・芸能で使われたかよく分かっていない。弥生時代に作られた青銅製の(あ)は、内部に鳴らすための「舌(ぜつ)」が残る遺物もあることから、楽器として用いられたことが分かる。古墳時代の(い)にも、琴を弾いたり踊ったりしている造形の作品があり、いつの時代も人々は歌舞を楽しみ、神や先祖に音楽をささげていたものと想像される。
- (2) 律令制が施行されると、(う)の中に雅楽寮が設置され、朝廷の儀式で演奏される音楽を司った。雅楽寮は、日本古来の舞曲とともに中国から輸入した雅楽と、新羅・百済・高句麗から輸入した雅楽を担当し、楽師には渡来人が多く採用された。朝廷の儀式や外国からの賓客をもてなす宴会などで楽曲が上演され、貴族たちも音楽のたしなみを教養の一つとした。
- (3) 東大寺の大仏開眼供養には、大きな仮面をつけた(ア)と呼ばれる舞曲が上演され、さまざまな外国の楽曲が演奏された。東大寺で用いられた楽器や仮面、創立者の(え)が愛用した楽器などが(お)に納められている。ラクダに乗る胡人を精密な細工で表した「螺鈿紫檀五絃琵琶」や、さまざまな形式の琴や笛などが大切に保存されている。中には箏篋(くご：ハーブの一種)のように、後世には使い方も分からなくなってしまった珍しい楽器も含まれている。
- (4) 雅楽の旋律に日本語の歌詞を付けて歌い物として演じられた(イ)は、平安時代末期に流行し、白拍子や遊女の得意とする演目となった。これを愛好した(か)は、演者を御所に招いて持ち歌を採録し(き)を編集した。この書物を通じて、当時の流行歌を知ることができる。鎌倉時代には、琵琶法師が『平家物語』を口演する(ウ)が流行し、音楽をとまなう語り物文芸の基礎となった。

(5) 中国から伝来した芸能の中には、曲芸と滑稽な演技を見せる(エ)が含まれていた。平安時代に入ると(エ)の演劇分野は(オ)と呼ばれるようになった。この芸能の見物をモチーフにして(ク)が著した、(ケ)という作品は、当時の社会生活を知るための貴重な資料となっている。また(エ)の曲芸的要素に農耕儀礼を加味した集団舞踊である(カ)は御霊会の芸能として流行し、1096年には(コ)と呼ばれる一大ブームを巻き起こした。有名な学者である(サ)が、この事件を批判的に記録した(シ)は、当時の京都の街の狂乱ぶりを活写している。

(6) (カ)の流行は鎌倉時代まで続き、(ス)はこれに熱中しすぎて政務をなおざりにした結果、幕府を滅ぼしたという世評が「二条河原の落書」や(セ)に記されている。足利尊氏も(カ)の熱烈なファンであり、1349年に四条大橋の再建資金を募るために開催された公演にも臨席していたが、観客が殺到して栈敷が崩れ、大勢の死傷者を出した。この事件も(セ)に批判的に記述されている。

(7) 足利義満は、(オ)の役者であった観阿弥・世阿弥の父子を寵愛した。この父子は、それまで短い寸劇であった(オ)を、仮面を用いたストーリー性のある演劇に発展させ(キ)と呼ばれた。二人が属した(ソ)をはじめ、興福寺の庇護を受けた四座はその後武家の式楽(公式認定芸能)として活躍し、日本を代表する古典芸能となった。江戸時代に商業演劇として発展した(ク)の演目も、(キ)にもとづく作品が多い。

問1 文中の空欄(ア)～(ク)に入る芸能のジャンル名を、以下の語群から選びなさい。

- | | | | | |
|-------|------|---------|------|-------|
| ① 今様 | ② 猿楽 | ③ 伎楽 | ④ 田楽 | ⑤ 猿楽能 |
| ⑥ 散楽 | ⑦ 風俗 | ⑧ 人形浄瑠璃 | ⑨ 神楽 | ⑩ 歌舞伎 |
| ⑪ 催馬楽 | ⑫ 東遊 | ⑬ 平曲 | | |

問2 文中の空欄(あ)～(そ)に入る単語を、以下の語群から選びなさい。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| ① 治部省 | ② 式部省 | ③ 銅鐸 |
| ④ 聖武天皇 | ⑤ 平等院 | ⑥ 埴輪 |
| ⑦ 後白河法皇 | ⑧ 梁塵秘抄 | ⑨ 藤原明衡 |
| ⑩ 三善清行 | ⑪ 大江匡房 | ⑫ 新猿楽記 |
| ⑬ 洛陽田楽記 | ⑭ 永長の大田楽 | ⑮ 祇園御霊会 |
| ⑯ 太平記 | ⑰ 梅松論 | ⑱ 金春座 |
| ⑲ 観世座 | ⑳ 正倉院宝庫 | ㉑ 北条高時 |
| ㉒ 北条守時 | | |

問3 日本芸能の特質について書かれた下記の文章のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 日本列島には常に海外から新しい芸能が流入するため、古い芸能は記録しか残っていない。
- ② 日本芸能の特質は、奈良時代以来のさまざまな芸能が重層的に良好な状態で保存されていることである。
- ③ 日本の芸能は、常に権力者の庇護のもとに発展したため、権力の交替とともに消滅したものが多い。
- ④ 貴族が好んだ芸能は特別視されて囲い込まれ、一般民衆が鑑賞できる機会はほとんどなかった。

問4 平安時代に流行した集団舞踊(カ)が描かれた絵画作品を、次の中から1つ選びなさい。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ① 伴大納言絵巻 | ② 石山寺縁起絵巻 | ③ 鳥獸戯画 |
| ④ 地獄草紙 | ⑤ 信貴山縁起絵巻 | ⑥ 源氏物語絵巻 |
| ⑦ 一遍聖絵 | ⑧ 蒙古襲来絵巻 | |

2

つぎの史料は、『神皇正統記』の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問のために空欄にしたところがある。また、読みやすくするために、原文のカタカナをひらがなにあらため、句読点・中黒点や濁点を補い、本文中の注記は〈 〉で示した。

○第七十二代、第三十九世、白河院。諱は貞仁、(ア)第一の子。御母贈皇太后藤原茂子、贈太政大臣能信の女、まことは中納言公成の女なり。壬子の年即位、甲寅に改元。いにしえのあとをおこされて野の行幸なんどもあり。また白河に(イ)を立て、九重の塔婆なども、昔の御願の寺々にも越え、例なき程ぞ作り整へさせ給ひける。こののち代ごとにうち続き御願寺を立られしを、造寺熾盛の誇りありき。造作のために諸国の(ウ)なんど云ふこと多くなりて、(エ)の功課もただしからず、封戸・庄園あまたよせおかれて、まことに国の費えとこそ成り侍りにしか。天下を治め給ふこと十四年。太子に譲りて尊号あり。世の政を初めて院中にてしらせ給ふ。後に出家せさせ給ひても猶そのままにて御一期はすごさせましましき。(中略)されば上皇ましませど、主上幼くおはします時はひとへに執柄の政なりき。宇治の大臣の世となりては三代の君の執政にて、五十余年権を専らにせらる。先代には関白の後は如在の礼にてありしに、余りなる程になりなければにや、(ア)院、坊の御時よりあしざまに思し召すよし聞こえて、御中らひ悪くあやぶみ思し召す程のことになんありける。踐祚の時即ち関白をやめて宇治にこもられぬ。弟の二条の教通の大臣、関白せられしはことの外にその権もなくおはしき。ましてこの御代には院にて政を聞かせ給へば、執柄はただ職にそなはりたるばかりになりぬ。されどこれよりまた古き姿は一変するにや侍りけん。執柄世を行なはれしかど、(オ)にてこそ天下の事は施行せられしに、この御時より(カ)を重くせられしによりて、在位の君また位にそなはり給へるばかりなり。世の末になれる姿なるべきにや。(中略)御子(キ)の御門・御孫鳥羽の御門・御ひこ(ク)の御在位まで五十余年〈在位にて十四年、院中にて四十三年〉世をしらせ給ひしかば、院中の礼なんど云ふこともこれよりぞ定まりける。全て御心のままに久くたもたせ給ひし御代なり。七十七歳おましましき。

(中略)

○第八十代，第四十三世，高倉院。諱は憲仁，後白河第五の御子。御母皇后平滋子(建春門院と申す)，贈左大臣時信の女なり。戊子の年即位，己丑に改元。上皇天下をしらせ給ふこと元のごとし。清盛権を専らにせしことは，ことさらにこの御代のことなり。その女(ケ)入内して女御とす。即ち立后ありき。末つかたやうやう所々に反乱の聞こえあり。清盛一家非分のわざ天意に背きけるにこそ。嫡子内大臣(コ)は心ばへさかしくて，父の悪行なども諫めとどめけるさへ世を早くしぬ。いよいよ驕りをきはめ，権をほしきままにす。(中略)従三位源(サ)と云ひし者，院の御子以仁の王とて，元服ばかりし給ひしかど，親王の宣などだになくて，傍らなる宮おはせしをすすめ申して，国々にある源氏の武士等にあひふれて，平氏を失はんと諮りけり。こと現れて皇子も失はれ給ぬ。(サ)もほろびぬ。かかれど，それより乱れそめてけり。義朝朝臣が子頼朝(前右兵衛佐従五位下，(シ)の頃六位の藏人たりしが，信頼ことを起こしける時任官すとぞ)(シ)の乱に死罪を申しなだむる人ありて，(ス)の国に配流せられて，多くの年を送りしが，以仁の王の密旨を受け給はり，院よりも忍びて仰せ遣はす道ありければ，東国をすすめて義兵を起こしぬ。清盛いよいよ悪行をのみなしければ，主上ふかく歎かせ給ふ。俄かに避位のことありしも世をいとはせましましける故とぞ。天下を治め給ふこと十二年。世の中の御祈りにや，平家のとりわきあがめ申す神なりければ，安芸の(セ)になむまるらせ給ける。この御門御心ばへもめでたく孝行の御志ふかかりき。管絃のかたも優れておはしましけり。尊号ありて程なく世を早くし給ふ。二十一歳おましましき。

(中略)

○第八十二代，第四十四世，後鳥羽院。諱は尊成，高倉第四の子。御母七条院，藤原殖子(中略)，入道修理大夫信隆の女なり。(中略)平氏滅亡してしかば，天下もとのごとく君の御まなるべきかと覚えしに，頼朝勲功まことに例なかりければ，自らも権をほしきままにす。君もまたうちまかせられにければ，王家の権はいよいよおとろへにき。諸国に(ソ)をおきて，国司の威をおさへしかば，吏務と云ふこと名ばかりに成りぬ。あらゆる庄園郷保に(タ)を補せしかば，(チ)はなきがごとくになれりき。頼朝は従五位下前右兵衛佐なりしが，義仲

追討の賞に越階して正四位下に叙し、平氏追討の賞にまた越階、従二位に叙す。建久の初めに初めて京上りして、やがて一度に権大納言に任ず。また(ツ)を兼す。頼朝しきりに辞し申しけれど、叡慮によりて朝奨ありとぞ。程なく辞退してもとの鎌倉の館になん下りし。その後征夷大將軍に拜任す。それより天下のこと東方のままに成りにき。平氏の乱れに南都の(テ)・興福寺焼けにしを、(テ)をば俊乗と云ふ上人すすめ立てければ、公家にも委任せられ、頼朝もふかく随喜して程なく再興す。供養の儀、古きあとをたづねて行なはれける、ありがたきことにや。頼朝も重ねて京上りしけり。かつは結縁のため、かつは警固のためなりき。法皇隠れさせ給ひて、主上世をしらせ給ふ。全て天下を治め給ふこと十五年ありしかば、太子に譲りて尊号れいのごとし。院中にてまた二十余年しらせ給ひしが、承久にことありて御出家、隠岐の国にて隠れ給ぬ。六十一歳おましましき。

(中略)

○第八十四代、順徳院。諱は守成、後鳥羽第三の子。御母修明門院、藤原の重子、贈左大臣範季の女なり。庚午の年即位、辛未に改元。この御時征夷大將軍頼朝の次郎(ト)、右大臣左大将までなりにしが、兄左衛門督(ナ)が子に(ニ)と云ひける法師にころされぬ。また継ぐ人なくて頼朝が跡はながく絶えにき。頼朝が後室に従二位平(ヌ)とて、時政と云ふものの女なりし、東国の事をば行ひき。その弟(ネ)兵権をとりしが、上皇の御子をくだし申して、あふぎ奉るべきよし奏しけれど、不許にやありけん、九条摂政(ノ)の大臣は頼朝の時より外戚に続きてよしみおはしければ、その子をくだして扶持し申しける。大方のことは(ネ)がままになりき。天下を治め給ふこと十一年。讓国ありしが、事乱れて、佐渡の国に移され給ふ。四十六歳おましましき。

問1 空欄(ア)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 後一条 ② 後朱雀 ③ 後冷泉 ④ 後三条 ⑤ 堀河
⑥ 崇徳

問2 空欄(イ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 法成寺 ② 平等院 ③ 尊勝寺 ④ 法界寺 ⑤ 法勝寺
⑥ 蓮華王院

問3 空欄(ウ)(エ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 不輸 ② 解状 ③ 受領 ④ 雑徭 ⑤ 流浪 ⑥ 重任

問4 空欄(オ)(カ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 御教書・政所下文 ② 祝詞・宣命 ③ 宣旨・官符
④ 判物・印判状 ⑤ 院宣・庁御下文 ⑥ 袖判下文・政所下文

問5 空欄(キ)(ク)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 二条 ② 六条 ③ 近衛 ④ 堀河 ⑤ 高倉 ⑥ 崇徳

問6 空欄(ケ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 時子 ② 徳子 ③ 研子 ④ 威子 ⑤ 嬉子 ⑥ 超子

問7 空欄(コ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 維盛 ② 重衡 ③ 宗盛 ④ 時忠 ⑤ 知盛 ⑥ 重盛

問8 空欄(サ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 範頼 ② 義経 ③ 為朝 ④ 行家 ⑤ 頼政 ⑥ 義仲

問9 空欄(シ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 延久 ② 保元 ③ 平治 ④ 治承 ⑤ 寿永 ⑥ 承久

問10 空欄(ス)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 信濃 ② 上総 ③ 下総 ④ 伊豆 ⑤ 相模 ⑥ 武蔵

問11 空欄(セ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 三嶋 ② 住吉 ③ 石清水 ④ 熊野 ⑤ 神宮
⑥ 巖島

問12 空欄(ソ)(タ)(チ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ
選びなさい。

- ① 預所 ② 下司 ③ 守護 ④ 別当 ⑤ 安国寺
⑥ 地頭 ⑦ 本所 ⑧ 郡司 ⑨ 検非違使 ⑩ 惣社

問13 空欄(ツ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 政所別当 ② 検非違使別当 ③ 相模守 ④ 武蔵守
⑤ 右近の大将 ⑥ 左近の大将

問14 空欄(テ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 法隆寺 ② 薬師寺 ③ 東大寺 ④ 元興寺 ⑤ 室生寺
⑥ 浄瑠璃寺

問15 空欄(ト)(ナ)(ニ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ
選びなさい。

- ① 一幡 ② 千幡 ③ 公暁 ④ 実朝 ⑤ 範頼 ⑥ 義経
⑦ 頼嗣 ⑧ 頼経 ⑨ 頼家 ⑩ 行家

問16 空欄(ヌ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 時子 ② 徳子 ③ 盛子 ④ 政子 ⑤ 頼子 ⑥ 清子

問17 空欄(ネ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 時房 ② 重時 ③ 時頼 ④ 経時 ⑤ 泰時 ⑥ 義時

問18 空欄(ノ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 基房 ② 実能 ③ 道家 ④ 兼実 ⑤ 師輔 ⑥ 良経

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

17世紀後半から18世紀の初めにかけての元禄時代は、幕藩体制が一応の安定をみせ、町人の台頭がめざましくなってきた時期であった。学問の世界では、儒学が幕府の保護を受け、封建教学として興隆するが、とくに朱子学は大義名分論を基礎に、封建社会を維持するための教学として幕府や藩に重んじられた。加賀藩主前田綱紀に仕え、のち將軍綱吉の侍講となった木下順庵は教育者としても優れ、新井白石・(ア)・(イ)らのいわゆる木門十哲を生んだ。

朱子学に対し、明の王陽明が始めた陽明学を学んだ中江藤樹は、朱子学の理知主義に対して「心即理」の立場をとり、「致良知」「知行合一」を重視した。しかし、陽明学は、現実を批判してその矛盾を改めようとする革新性をもっていたため、幕府に忌避された。藤樹に学んだ熊沢蕃山は『(A)』において陽明学的世界観を背景に、政治・社会・学問について問答形式で論じるが、『大学或問』で幕政を批判したとしてとがめられ、下総古河に幽閉された。

一方、朱子学や陽明学は朱熹や王陽明の解釈によるものであるとして排し、孔子・孟子の源流に返ろうとする古学派が、(ウ)や伊藤仁斎らによって始められた。(ウ)は学問は現実の生活規範を与えなければならないとして、儒教古典の朱子学的解釈を批判した。その著『(B)』は幕府の怒りをかい、赤穂に流された。また、彼は配流中に『(C)』を著し、中国崇拜を廃して日本中心主義を主張した。同じころ、京都に古義堂という塾をかまえた伊藤仁斎は、『論語』『孟子』などの原典の研究を通じて、直接聖人の道を正しく理解しようとし、古義学を唱えた。著述に『論語古義』『孟子古義』『(D)』がある。

江戸の荻生徂徠は、仁斎の学に啓発されながら、それとは異なる教学を形成した。徂徠は中国の古典文辞を研究し、聖人の道は経世済民の人為的な道であるとして、道徳よりも政治を重視して、礼楽・制度を整えることの重要性を主張した。また、徂徠は将軍吉宗の諮問に答えて『政談』を著し、幕政改革案を示した。こうした徂徠の経世論は『経済録』の著者である(エ)によって継承・発展された。『(E)』は綱吉から家継までの治世の歴史書で、(エ)の作とされる。

歌学の革新からはじまった日本の古典研究は、しだいに日本古来の道を説く国学として発達した。荷田春満は『古事記』や『日本書紀』の研究を通じて神道思想をとり入れた復古主義を唱え、『(F)』を献呈して、国学の学校建設を将軍吉宗に建言した。その門人の賀茂真淵は『万葉集』『古事記』の研究から古道説を説き、『万葉集』の注解書である『万葉考』や儒仏の影響を受けない純粋な日本固有の道を説く『(G)』などを著した。また、本居宣長は真淵に学びながら『万葉集』『古今和歌集』『源氏物語』などの古典研究を大成するとともに、『古事記伝』を著し、儒教を排して日本古来の精神「真心」に返ることを主張した。一方、(オ)は、幕府の保護のもとに和学講談所を設立し、国史講習と史料編纂に従事した。古代から江戸初期に至る国書を25項に分類して刊行した『(H)』もここで編纂された。

18世紀の初め、京都の町人石田梅岩は心学をおこし、儒教道徳に仏教や道教などの教えを加味して、通俗平易な講話で庶民の生活倫理をやさしく説いた。その主著『(I)』には四民の人的平等と商業行為の正当性が説かれている。その弟子の(カ)は教説の簡易化と普及を意図し、京都に心学舎を建設したほか、男女児を対象とする(ジ)と呼ばれる講話を行い、教勢の拡大を図った。(カ)に学んだ(キ)は、江戸に下って関東での普及活動に尽力し、心学隆盛の基礎を築いた。

18世紀半ばになると、封建社会を根本から批判し、それを改めようとする者も現れてきた。陸奥八戸の医者であった安藤昌益は『自然真営道』を著して、封建制度を厳しく批判し、武士が年貢を取奪する社会を否定し、万人がみずから耕作して生活する(K)を理想とした。ほかに『(L)』の著作もある。

こうした学問・思想における新たな動きに対して、幕府は朱子学による幕臣の

士風刷新・教化のために、1790年に寛政異学の禁を発し、朱子学を正学とし、聖堂学問所での異学の教授を禁じた。そして、聖堂学問所を幕府直営の昌平坂学問所とし、官学としての整備を図った。他方、各藩では武士や子弟の教育のために藩校(藩学)を設立し、人材の養成と登用に力を注ぐが、藩の援助によって藩士や庶民の教育をめざす郷校(郷学)がつくられることもあった。18世紀初めに大坂町人の出資を得て設立された懐徳堂は、寛政の改革の頃には(ク)が学主となって朱子学や陽明学などを町人に教え、栄えた。また、(ク)は松平定信に政治上の意見書『(M)』を献じている。懐徳堂からは『(N)』を著し、仏教を歴史的な立場から否定した富永仲基や、『夢の代』を著して唯物論的立場から無神論を唱えた山片蟠桃が出た。

一般庶民の初等教育機関としては寺子屋がつくられ、師匠が教科書である「往来物」を用いて、読み・書き・そろばんなどの日常生活に役立つことや道徳を教えた。道徳の教科書として、(ア)がまとめた『(O)』や(ケ)の『(P)』をもとにつくられたとされる『女大学』なども用いられた。

問1 文中の空欄(ア)～(ケ)に当てはまる人名を、次の中から1人ずつ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 浅見綱齋 | ② 雨森芳洲 | ③ 生田万 | ④ 大蔵永常 |
| ⑤ 大原幽学 | ⑥ 岡田寒泉 | ⑦ 貝原益軒 | ⑧ 古賀精里 |
| ⑨ 柴田鳩翁 | ⑩ 柴野栗山 | ⑪ 太宰春台 | ⑫ 手島堵庵 |
| ⑬ 中井竹山 | ⑭ 中沢道二 | ⑮ 服部南郭 | ⑯ 塙保己一 |
| ⑰ 伴信友 | ⑱ 平田篤胤 | ⑲ 細井平洲 | ⑳ 松永尺五 |
| ㉑ 三宅石庵 | ㉒ 室鳩巢 | ㉓ 安井息軒 | ㉔ 山鹿素行 |
| ㉕ 山県大弼 | ㉖ 脇坂義堂 | | |

問2 文中の空欄(A)～(P)に当てはまる語句を、次の中から1つずつ
選びなさい。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| ① 出定後語 | ② 群書類従 | ③ 玄語 |
| ④ 建学校私議 | ⑤ 孝義録 | ⑥ 国意考 |
| ⑦ 国書大全 | ⑧ 古道大意 | ⑨ 三王外記 |
| ⑩ 自然世 | ⑪ 集義和書 | ⑫ 女訓抄 |
| ⑬ 庶物類纂 | ⑭ 心学道之話 | ⑮ 慎思録 |
| ⑯ 真世 | ⑰ 聖教要録 | ⑱ 前訓 |
| ⑲ 創学校啓 | ⑳ 草茅危言 | ㉑ 大小学校建議 |
| ㉒ 中日考 | ㉓ 中朝事實 | ㉔ 中庸字義 |
| ㉕ 手習所 | ㉖ 童子問 | ㉗ 道法自然 |
| ㉘ 統道真伝 | ㉙ 童蒙訓 | ㉚ 徳川実紀 |
| ㉛ 都鄙問答 | ㉜ 日本三代実録 | ㉝ 農政本論 |
| ㉞ 武家事紀 | ㉟ 婦女鑑 | ㊱ 復古記 |
| ㊲ 本朝通鑑 | ㊳ 明倫堂 | ㊴ 六論衍義大意 |
| ㊵ 和俗童子訓 | | |

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1919年(ア)月に調印されたヴェルサイユ条約によって、日本は、(あ)
における旧ドイツ権益の継承を認められ、さらに(い)以北の旧ドイツ領南洋
諸島に対する国際連盟からの委任統治権を得た。しかし、(あ)への措置に対
しては、自国への返還を求めたものの、それがならなかった中国では、そのこと
への不満から同年(イ)月、反日国民運動が^(a)おこり、中国は結局、ヴェルサイ
ユ条約には調印しなかった。また、日本はパリ講和会議中、アメリカでの日系人
移民排斥へのけん制、設立されることになる国際連盟へ加盟可能な当時の独立国
がほとんど白人の国々であり、その結果として連盟が「白人クラブ」となり、黄色
人種の国である日本が不利に扱われることに対する懸念から、人種差別撤廃案を

国際連盟規約に挿れることを強く主張した。しかし、その最中の同年(ウ)月、日本が(エ)年から統治を始めていた朝鮮で独立運動が始まった。運動はおおむね平和的・非暴力的に展開されたが、日本当局は、物理的な力をもって運動を弾圧し、矛盾を内外に如実に見せつけた。

パリ講和会議でもにも議論されたのは、ヨーロッパでの諸問題であり、極東や太平洋での諸問題は、議論されなかったり、最終的な解決を後日に期したりしていた。そこで、アメリカの(A)大統領が主導して、(オ)年から翌年にかけて、ワシントンで極東問題、太平洋問題、海軍軍縮問題などを審議するための国際会議を開催した。アメリカの主な目的は、日米英間の建艦競争を終わらせて財政負担の軽減を図り、極東・太平洋での日本の膨張を抑制することであった。それに対して、日本では、会議への不参加も論じられたが、結局は参加するにいたり、全権として海軍大臣の(B); 駐米大使の(C)などが会議に臨んだ。

会議では、まず(オ)年の(カ)月、英米仏日のあいだで、太平洋での現状維持および太平洋問題における紛争の話し合いによる解決などを決めた四カ国条約が調印された。これによって、(ウ)の廃棄が決定した。

ついで、翌年(キ)月、中国問題に関して九カ国条約^(b)が調印され、中国の領土と主権の尊重、中国における各国の経済上の門戸開放・機会均等などを約束し、これによって(エ)は廃棄された。さらに、同年(ク)月、英米仏伊日のあいだで海軍軍縮条約が調印され、日本がもつことができる戦艦などの主力艦の総トン数比率は、対米英(ケ)割とすることが決まった。日本では、海軍、特に軍令部が対米英(コ)割を主張したが、(B)が不満を抑えて調印した。また、会議の場で日中の2国間交渉が行なわれ、(あ)の旧ドイツ権益の中国への返還も決まった。

ワシントン会議での以上の諸条約は、戦争再発の防止と列強間の協調をめざしたものであり、それらにもとづくアジア・太平洋での新国際秩序は、ワシントン体制とよばれた。会議時の(お)の(D)内閣はこれを積極的にうけいれて協調外交の基礎をつくり、続く(B)内閣、(E)内閣も、これを引き継いだ。

さらに、第二次護憲運動を起こした護憲三派による(F)内閣ができると、協調外交には背を向けていた政党(か)も同調し、(C)外相のもとで協調外交をいっそう進めた。

海軍軍縮の影響は大きく、老朽艦の廃棄や戦艦建造の中止などがなされた。また、陸軍でも宇垣一成陸相による宇垣軍縮などで、兵員の削減の一方で兵器の近代化もなされた。

問1 文中の空欄(A)～(F)に当てはまるもっとも適切な人名を、次の中から1つずつ選びなさい。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| ① 原敬 | ② 加藤友三郎 | ③ 清浦奎吾 |
| ④ クーリッジ | ⑤ 加藤高明 | ⑥ 田中義一 |
| ⑦ 財部彪 | ⑧ 内田康哉 | ⑨ 犬養毅 |
| ⑩ ウィルソン | ⑪ 山梨半造 | ⑫ 若槻礼次郎 |
| ⑬ 浜口雄幸 | ⑭ 後藤新平 | ⑮ 幣原喜重郎 |
| ⑯ 田健次郎 | ⑰ 高橋是清 | ⑱ 井上準之助 |
| ⑲ 斎藤実 | ⑳ ハーディング | ㉑ フーヴァー |
| ㉒ 大島健一 | ㉓ 山本権兵衛 | ㉔ 水野錬太郎 |

問2 文中の空欄(あ)～(か)に当てはまるもっとも適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| ① 憲政会 | ② 日米紳士協約 | ③ 日仏協約 |
| ④ 日米通商航海条約 | ⑤ 革新倶楽部 | ⑥ 立憲民政党 |
| ⑦ 河北省 | ⑧ 赤道 | ⑨ 憲政党 |
| ⑩ 桂・タフト協定 | ⑪ 北緯10度線 | ⑫ 高平・ルート協定 |
| ⑬ 南回帰線 | ⑭ 山東省 | ⑮ 憲政本党 |
| ⑯ 石井・ランシング協定 | ⑰ 政友本党 | ⑱ 立憲国民党 |
| ⑲ 日英同盟 | ⑳ 北回帰線 | ㉑ 江蘇省 |
| ㉒ 対華二十一か条要求 | ㉓ 河南省 | ㉔ 立憲政友会 |

問3 文中の下線部(a)~(c)の項目にもっとも関係が深く、かつ内容が正しい事柄を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① のちに、首相に就いた。
- ② 9カ国の中に、オーストラリアが入った。
- ③ 一連の運動は、この月4日の上海の学生による街頭運動に端を発した。
- ④ 戦後、A級戦犯に指定された。
- ⑤ 9カ国の中に、ポルトガルが入った。
- ⑥ 一連の運動は、この月1日の上海の労働者による街頭運動に端を発した。
- ⑦ のちに、暗殺された。
- ⑧ 一連の運動は、この月4日の北京の学生による街頭運動に端を発した。
- ⑨ 9カ国の中に、スペインが入った。
- ⑩ のちに、外相に就いた。
- ⑪ 一連の運動は、この月1日の北京の労働者による街頭運動に端を発した。
- ⑫ 9カ国の中に、ロシアが入った。

問4 文中の空欄(ア)~(コ)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次の中から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6
- ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12
- ⑬ 1908 ⑭ 1909 ⑮ 1910 ⑯ 1911 ⑰ 1912 ⑱ 1919
- ⑲ 1920 ⑳ 1921 ㉑ 1922 ㉒ 1923

